

第123回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	未収入金	前払金	仮払金
繰越商品	前払手数料	不渡手形	支払手形
買掛金	未払金	前受金	仮受金
未払利息	借入金	貸倒引当金	修繕引当金
売上	受取手数料	有価証券利息	修繕引当金戻入
仕入	貸倒引当金繰入	修繕費	支払利息
手形売却損	貸倒損失		

- 決算にさいして当座預金勘定の残高を確認したところ、当社の帳簿残高は ¥ 700,000 であり、銀行側の残高証明の金額は ¥ 930,000 であった。残高の不一致の原因として次の事実が判明したので、修正の処理を行った。

 - 受取手形の支払期日到来にともない、銀行で回収した額 ¥ 100,000 が当方に未達であった。
 - 買掛金の支払いのために振り出した小切手 ¥ 50,000 が決算日現在銀行への呈示がなされていなかった。
 - 備品購入にかかわる未払金支払いのために振り出した小切手 ¥ 80,000 が未渡しのまま経理部の金庫に保管されていた。
- 得意先足利商店に対して前期に償還請求をしていた不渡手形の額面 ¥ 800,000 と償還請求費用 ¥ 30,000のうち、¥ 200,000 を現金で回収したが、残額は回収の見込みがなく、貸倒れの処理をした。なお、貸倒引当金は ¥ 500,000 設定されている。
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 機械の定期修繕を期末に行い、代金 ¥ 800,000 は翌月末の支払いとした。前期末までに計上された修繕引当金は ¥ 500,000 である。